



NAKAI
INTER CIRCUIT
GRAND PRIX
OF JAPAN

MOTO CUP

2st50 スクータークラス車両規則 2024年 初版

2 サイクル 50cc スクーター準改造クラス

主な改造範囲

エンジン無改造 マフラー変更可能 エアクリナー取外し可能

駆動系社外部品使用可能 前後足回り変更可能 出力に影響しない社外補修部品使用可能

新車出荷時にドラムブレーキのみのモデルもディスクブレーキ化可能

【参加可能車両】

2 サイクル 50cc 未満のスクーターのみ参加可能

スクーターとは CVT 式無断変速機構搭載車両とする

当サーキットの走行規定を厳守する事(キャッチタンク・ワイヤーロック)

<https://www.kidsracing.info/rental/> 中井インターサーキット走行規定

【エンジン関連】

燃料は一般給油所で購入出来るレギュラー・ハイオクのみとする

レース用 航空用などの燃料は使用禁止

2 サイクル用オイル以外の燃料への混合を禁止する

エンジン(ケース クランク シリンダー ヘッド ピストン等の内燃機関部品全般)のバリ取りボカシ等を含む切削及び加工を一切禁ずる

排気量は 50cc 未満としオーバーサイズピストンの使用を禁じる

廃盤部品対策として同一メーカー同排気量のスクーター用エンジン部品の流用を認める

但し無加工で装着出来るものに限る 追加部品を要して装着する事は認めない

エンジン部品とはケース・クランク・ヘッド・シリンダー・ピストン・ガスケット・キャブレター・それに付随する部品とする

その部品は全て純正部品とし社外補修部品の使用は認めない

ヤマハ車のみ他メーカー車両との戦力バランスを図る為に以下の組み合わせのみに限定する

【ヤマハ車両 新車出荷時に搭載されるエンジンケースによるシリンダー流用制限】

【シリンダー制限】

3KJ ケース搭載車両→全て流用可能

5BM・5SU ケース搭載車両→5GD・4JP・4WX のみ組合せ可能

【クランクケース互換】

5SU ケース車両は 5BM ケースの使用を認める

分離給油用オイルポンプの改造・変更 取り外しを認める またオイルポンプ関連部品の取り外しも可能とする(オイルタンク・オイルライン)

取り外し後の蓋の追加を認める

エンジン始動に関わる部品の取り外しは可能(キックスターター セルモーター)

但し外部スターターによる始動は不可とする

スターター関連取り外し後の蓋の取り付けを認める

【排気系】

マフラーの改造・変更を認める

消音器を有しサーキットの音量規制を厳守する事

リアタイヤの後端から 10cm 以上はみ出てはいけない
サイレンサーのテールエンドは水平で後ろ向きが望ましい
マフラーガードの取り付けを認める

【吸気系】

アクセルワイヤー グリップ部(ハイスロ スロットルコーン グリップラバー)の変更可
オイルポンプ作動用のワイヤーの改造変更可

同一メーカー同排気量のキャブレターの流用可 但し追加部品を使用せず無加工無改造で
取付可能なスクーター用に限る

例

スズキ ZZ にストリートマジックのキャブレターの流用可能

キャブレターのセッティングインナーパーツの変更を認める

オートチョーク機構はチョーク停止状態固定にする為の改造を認める

アイドルコンペンセイターの取り外しを認める 撤去後に関連する部分への蓋の追加を認める

オイルライン取り外し後の蓋の追加を認める

エアクリーナーの改造および取り外しを認める

エアファンネルの取り付けを認める 但し無加工で取付けられるもののみ認める

【電気系】

バッテリーの取り外し変更可

スパークプラグ キャップの変更は可 但しイグニッションコイル・コードの変更は不可

ハーネス類の取り外し改造は可

メインキーの取り外しは不可としメインキーでエンジン停止が出来る事

リミッターカット CDI の変更可

メーカー出荷時に CDI と点火コイルが一体式になっている車両は同様の一体式 CDI ユニットのみに変更可

ピックアップを除くスターターコイルの改造変更は可 但し取り外しは不可

同一メーカー同排気量のスクーター用フライホイールの流用可 但し無加工無改造で装着

出来るもののみ使用可

空冷ファンは同一メーカー市販 50cc スクーター用の通常ルートで購入可能なもののみ流用可

ただし無加工無改造で装着出来るもののみ使用可

【足回り】

リアショックの変更可

レーシングスタンド取付ステーの追加を認める

ブレーキワイヤー ブレーキオイル ブレーキシュー&パッド レバー ホース バンジ
ョーボルトの変更可

ステム・フロントサスペンションの改造変更可

ハンドルはベース車両のものを使用する事

同排気量スクーター用の純正フロントブレーキシステムの流用可

但しブレーキキャリパーはベース車両のものか流用するフロントフォークの付属の組み合わせである事

但しフロントホイールは純正品でベース車両の同一素材である事

例 3YK ジョグにライブディオのフォークを移植した場合

ディオ純正ホイールも使用出来るが鉄ホイールに限る

ブレーキキャリパーはディオ用も使える

ブレーキキャリパーのみの流用は不可

リアホイールは同一メーカー同排気量で同素材の純正ホイールの流用を認める

但し同型モデルのグレード間での流用は認める

例 SA16J リモコンジョグに SA39J のリアホイールを流用可能

フォーク流用時にキャリパーサポートの追加は可
フロントフォークの干渉を避ける為のカウル類の最低限のカットは可

スピードメーターケーブルの取り外し 関連部品の取り外しを認める
ホイールのダストシールの取り外しは可
但しホイールベアリングの本体のシールの取り外しは不可

【タイヤ】

通常ルートで購入出来る一般公道走行可能タイヤのみとしレース専用タイヤの使用は禁止
レインタイヤは禁止とする

【駆動系】

駆動系の改造変更は可 スターター関連部品の取り外しは可
但しクランクシャフト リアホイールの変更は不可
クランクケースカバーの穴あけなどの加工は不可
駆動系カバーのは溶接による補修を認める
駆動カバーガスケットの取り外しを認める
駆動系カバーのボルトはスチール製の同寸法ボルトで全箇所固定しなければならない

【外装系】

ステップ付近の滑り止め追加・加工などは厚み 10mm 以内の素材のものが使用可

ベース車両がステップバー式になっているモデルはベースプレートとステップバーの変更が可能

取付は無加工無改造で取り付けられるものとする

ハンドルの改造は不可

但しベース車両がハンドルクランプ式になっているものはハンドルバーの変更可

ボディカバーの改造変更は不可とするが純正同一形状のものとする

但しインナーフェンダーの取り外し切除は可

整備性向上の為のメットインボックス インナーカウルの一部加工は可

ライト ウィンカー類へのカバーの追加を認める

ただしリアタイヤ後端よりはみ出さない事

シート表皮 シートベース シート内のスポンジの加工(アンコ抜き)の形状変更は可
純正同等の形状である社外品シート表皮への変更を認める

【社外補修部品の使用】

廃盤部品への対応として社外補修部品の使用を認める
純正同等で同形状であり純正品に比べ性能向上が見込めないものである事とする

参戦可能ベース車両生産中止から長期の期間が経過しており一般的市場ルートでの補修部
品の採用事例も多く
近年の純正部品の定価高騰から参加者の参戦費用の負担軽減を目的とする

社外補修部品使用例

AF35・34 ライブディオのリードバルブ周り
ヤマハ車両のゴム製キャブレターマニホールド
フロントブレーキディスク
燃料負圧コック
エンジン周り以外のガスケット類およびベアリング(メーカー純正品基準を超えない事)

上記は純正同等の取り付け方法で同等性能・同等形状・同等素材で加工改造が施されていない事

但し下記のエンジン部品の社外補修部品の使用は不可

クランク シリンダー ヘッド ピストン一式 ピストンピン 腰上組立に必要なガスケット類
キャブレター本体は純正部品に限る

性能向上が見込める場合は使用禁止範囲は開催期間中でも変更される事がある

【その他】

上記以外の改造変更は他所開催の一般的な FN クラス車両の規則に準ずる(モトチャンプ杯
ライスボカップなど)

それ以外の改造変更は不可とする

レギュレーションの公平性を高める為に上記規則の追加変更は主催者公式発表の後に採用
される

変更発表以前の規則違反車両の参加は出来ない事とする

当該レースは参戦車両の生産終了から長期期間が経過しておりメーカー部品供給終了と共に
変更される可能性がある

また戦力バランスの公平性の為に開催中でも変更の可能性がある

規則および判断は権限は全て主催者が有する事とする

中井インターサーキット モトカップ

主催 神奈川県足柄上郡中井町境 1023 中井インターサーキット

